

便秘治療薬（内服薬）比較

商品名 (一般名)	リンゼス錠0.25mg (リナクロチド)	グーフィス錠5mg (エロピキシパット水和物)	アミティーザカプセル24μg (ルビプロストン)	モビコール配合内用剤 (主：マクロゴール4000)	スインプロイク (ナルデメジントシル酸塩)
作用機序	グアニル酸シクラーゼC受容体 (GC-C受容体) アゴニスト	胆汁酸トランスポーター阻害薬	クロライドチャンネルアクチ ベーター	高浸透圧薬	経口末梢性μオピオイド受容 体拮抗薬
適応症	<b>便秘型過敏性腸症候群</b> 、慢性便 秘症（器質的疾患による便秘を 除く）	慢性便秘症(器質的疾患によ る便秘を除く)	慢性便秘症(器質的疾患によ る便秘を除く)	慢性便秘症（器質的疾患によ る便秘を除く）	オピオイド誘発性便秘症
用法・用量	0.5mg（2錠）を1日1回、食前 に経口投与。症状により 0.25mgに減量	10mg（2錠）を1日1回、食 前、症状により適宜増減（最 大15mgまで）	1回24μgを1日2回、朝夕食 後、症状により適宜減量	<b>本剤は、水で溶解して経口投与する。</b> 通常、2歳以 上7歳未満の幼児には1回1包、7歳以上12歳未満の 小児には1回2包、成人及び12歳以上の小児には1回 2包を1日1回経口投与、以降、症状に応じて適宜増 減し、1日1～3回経口投与	1回0.2mgを1日1回経口投与 する。
主な副作用	<b>重度の下痢（頻度不明）</b> 下痢 (11.6%) 腹痛(1.6%)	腹痛(19%)と <b>下痢(15.7%)</b>	下痢(30%)、 <b>悪心(23%)</b> 腹 痛(6%)	下痢(3.6%)、腹痛(3.6%)	<b>下痢(21.9%)</b> 、腹痛(2.2%)
併用禁忌	—	—	—	—	—
併用注意	—	胆汁酸製剤（ウルソデオキシコール酸、ケノデオキ シコール酸）、アルミニウム含有制酸剤（スクラル ファート水和物、アルジオキサ等）、コレステラミ ン、コレステナミド、コレステラミン、コレステナ ミド、ミダゾラム	—	—	主に肝代謝酵素CYP3A4で代謝される。（CYP3A阻 害剤イトラコナゾール、フルコナゾール等、CYP3A 誘導剤リファンピシン等、P-糖蛋白阻害剤シクロス ボリン等）
腎機能障害患者 への投与	—	—	重度の腎機能障害のある患者では、患 者の状態や症状により1回24μgを1日1 回から開始するなど、慎重に投与	—	—
肝機能障害患者 への投与	—	重篤な肝障害のある患者〔胆道閉塞や 胆汁酸分泌が低下している患者等では 本剤の効果が期待できない場合があ る。〕	中等度又は重度の肝機能障害（Child- Pugh分類クラスB又はC）のある患者 では、1回24μgを1日1回から開始する など、慎重に投与	—	—
妊婦への投与	治療上の有益性が危険性を上回ると判 断される場合のみ投与	治療上の有益性が危険性を上回ると判 断される場合のみ投与すること	禁忌	治療上の有益性が危険性を上回ると判 断される場合のみ投与すること	治療上の有益性が危険性を上回ると判 断される場合のみ投与すること
食事の影響	食前投与したときに比べて、食後投与した時 には、下痢（軟便を含む）の発現率が高い	食後の投与では、胆汁酸はすでに小腸から吸 取されてしまい、薬効果が十分発揮できない	空腹時での投与では、悪心の症状が多いた め、食直後又は食後の服用	—	—
一包化	不適（錠剤は防湿及び乾燥機能を有するアル ミ包装により品質保持をはかっている。服用 直前に錠剤を取り出すこととし、無包装状 態、あるいは別容器に移しての保存はしない こと）	可能	無包装条件下で30日間は問題 がなかった	—	可能
1日薬価 (単価)	179.8円(89.9円)	211.6円(105.8円)	246.0円(123.0円)	167.8円(83.9円)	272.10円